

認定こども園

帯広の森幼稚園

遊んで学ぶ 学んで育つ

～小さな冒険はじめよう～



園長便り

令和2年度 No.1 [2020年4月16日発行]

ご 入 園
お め で と う
ご ざ い ま す

[幼稚園の学びスタート…入園式]

グラウンドから雪が消え、園庭の芝生から春の息吹が聞こえ、園舎からはヒソヒソと子ども達の囁き声が伝わってきた4月11日(土)入園式。

今年の入園式は、新型コロナウイルスの感染拡大予防の為、二部制・人数制限・時間短縮等の条件下で無事終了することができました。今年にはコロナウイルスの関係で、子どものそばに保護者の方に座って頂いたため、子ども達は余裕のある態度で静かに落ち着いた雰囲気の中での入園式でした。

(今年度の新入園児は年少54名、年中2名、年長2名 計58名)



今週の出来事

【一学期 始動！！】始園式

4月13日（月）、いよいよ幼稚園のはじまり、始園式を迎えました。まず、早朝保育の子ども達の登園。やがて進級した在園児の登園。いつものことながら、お部屋に向かいすぐにお友だちと真ん中のスペースで遊んだり、お話をしたりと楽しそうな様子でした。新入園児の登園では、沢山荷物が入った袋をお母さんから受取り、靴箱を見つけ、いよいよお母さんとお別れ。。。子ども達の表情がくもり、泣き出す子も若干見られました。

例年も同じとの事ですが、年少・年中・年長さんのお友だちの共通していることは、自分の下駄箱が分からず、右往左往して玄関は大混雑となりました。そして、先生たちが総動員で一人一人手をつないだり、抱っこしたりして、どの教室でも、子ども達はきちんと椅子に座って、しっかりと先生のお話を聞いて、活動をしていました。



おやつを食べ、降園時間になりました。子ども達は、午後の預かり保育に入る子ども、お家の人の迎えを待つ子どもと、玄関までの大移動。玄関では、お家の人の顔を見つけ“ホッと”一安心し、ニコッと表情を和らげていました。初日から特に混乱なく素晴らしく立派な子ども達でした。

そして、親子で幼稚園でしたこと、お友だちと楽しく遊んだこと等々、担任の先生と向き合って話したことをニコニコ語ったのではないのでしょうか？

ママが恋しくて泣くのもほんの少しの間だと思います。やがてママの心配を乗り越えて、先生と楽しく遊んだこと、お友だちと語ったこと等々を目を輝かせ話してくれることになると思います。

私たち大人は、子どもの目線に立って、しっかりと子ども一人一人に、そっと寄り添って、子ども達の最善の幸せを実現するよう「先生方」と「保護者」の皆さんと共に「子どもを真ん中にした」将来を築いていこうではありませんか。どうぞ保護者の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



～園長便りの発行について～

今年度も園長便りを発行し、園の方針や出来事、園長の想い、子ども達の様子などをお伝えできればと考えていますので、どうぞご愛読下さい。

園長便りでは、いろいろな場面で頑張っている子ども達を紹介するため、園児の名前や顔写真を掲載することがあります。また、この園長便りは本園ホームページにも掲載します。写真につきましては、できるだけ個人が特定できないよう配慮してまいりますので、何卒ご理解の程、宜しくお願い致します。

～シルフ登録お願い～

メール一斉送信「シルフ」への登録をされていない方が多くいらっしゃいます。必ず登録をお願いします。4月20日（月）14時に再度テストメールを送信しますので、それまでに登録を済ませて下さい。宜しくお願いします。

～お詫び～

職員紹介の安藤唯莉先生の表記に誤りがありました。正しくは『ひよこ組サブ担任』です。申し訳ございません。

